

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【公表番号】特表2011-506457(P2011-506457A)

【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2010-538073(P2010-538073)

【国際特許分類】

A 01 N	25/34	(2006.01)
A 01 N	33/20	(2006.01)
A 01 N	59/16	(2006.01)
A 01 N	31/16	(2006.01)
A 01 N	37/02	(2006.01)
A 01 N	33/12	(2006.01)
A 01 P	3/00	(2006.01)
A 01 N	37/40	(2006.01)

【F I】

A 01 N	25/34	A
A 01 N	33/20	1 0 1
A 01 N	59/16	A
A 01 N	31/16	
A 01 N	37/02	
A 01 N	33/12	1 0 1
A 01 P	3/00	
A 01 N	37/40	

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月1日(2011.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の主面を含む第1の面を有する基板と、

前記基板の第1の面に画定される複数の微小構造化ウェルであって、該複数の微小構造化ウェルのそれぞれは底部によって少なくとも部分的に画定され、前記底部は前記基板の前記第1の主面から所定の距離だけ離間され、前記複数の微小構造化ウェルのそれぞれは前記第1の主面の平面内に少なくとも1つの寸法を有し、前記少なくとも1つの寸法が1000マイクロメートル未満であるような複数の微小構造化ウェルと、

前記基板の第1の主面から所定の距離だけ離間した上面を有するように前記複数の微小構造化ウェルの少なくとも一部のものの内部に配置された抗微生物物質と、を備える、微小構造化抗微生物フィルム。

【請求項2】

第1の面を有する基板であって、前記第1の面が複数の交差壁部の上面によって少なくとも部分的に画定される第1の主面を含む、基板と、

前記基板の第1の面に画定された複数の微小構造化ウェルであって、該複数の微小構造化ウェルのそれぞれは底部と少なくとも3つの前記複数の交差壁部とによって少なくとも

部分的に画定され、前記底部は前記基板の第1の主面から所定の距離だけ離間され、前記複数の微小構造化ウェルのそれぞれが前記第1の主面の平面内に少なくとも1つの寸法を有し、前記少なくとも1つの寸法が1000マイクロメートル未満であるような複数の微小構造化ウェルと、

前記基板の第1の主面から所定の距離だけ離間された上面を有するように前記複数の微小構造化ウェルの少なくとも一部のものの内部に配置された抗微生物物質と、を備える微小構造化抗微生物フィルム。

【請求項3】

第1の抗微生物フィルムと第2の抗微生物フィルムとを有する抗微生物フィルムアセンブリであって、前記第1の抗微生物フィルム及び前記第2の抗微生物フィルムのそれぞれが、

第1の主面を有する第1の面と、第2の主面を有する第2の面とを有する基板と、

前記基板の前記第1の面に画定され、前記基板の前記第1の主面から陷入した複数の微小構造化ウェルと、

前記複数の微小構造化ウェル内に配置された抗微生物物質と、を有し、

前記第1の抗微生物フィルムが前記基板の前記第2の主面に結合された接着剤を有し、前記第1の抗微生物フィルムの前記接着剤が前記第2の抗微生物フィルムの前記第1の主面と接触する、抗微生物フィルムアセンブリ。

【請求項4】

微生物による汚染から表面を保護するための方法において、

第1の抗微生物フィルム及び第2の抗微生物フィルムを提供する工程であって、前記第1の抗微生物フィルム及び前記第2の抗微生物フィルムのそれぞれが、

第1の主面を有する第1の面と、第2の主面を有する第2の面とを有する基板と、

前記基板の前記第1の面に画定され、前記第1の主面から陷入した複数の微小構造化ウェルと、

前記複数の微小構造化ウェル内に配置された抗微生物物質と、

前記第2の主面に結合された接着剤と、を有し、

前記第1の抗微生物フィルムの前記接着剤が前記第2の抗微生物フィルムの前記第1の主面と接触し、前記第2の抗微生物フィルムの前記接着剤が、保護しようとする表面に結合される、工程と、

前記第1の抗微生物フィルムの前記接着剤を前記第2の抗微生物フィルムの前記第1の主面との接触状態から剥離することによって前記第2の抗微生物フィルムから前記第1の抗微生物フィルムを剥離して、前記第2の抗微生物フィルムの前記抗微生物物質を露出させる、工程と、を含む方法。